

# 岡山市政ニュース 速報版

2021年8月5日 日本共産党 岡山市議団 NO. 269  
岡山市北区大供1-1-1 086-803-1707

## 国保 「資格証」の発行やめる 市民の声が動かした！

岡山市は、5日の市国民健康保険運営協議会（国保運協）で、保険料滞納世帯に出していた「資格証」を2021年度については発行せず、短期保険証を発行する方針を明らかにしました。

市は「資格証」の発行理由を、「納付相談に来させて収納率を上げるため」と説明していました。しかし、昨年度（2020年度）、コロナ禍で窓口での納付相談ができず、「資格証」の新規発行をしなかったにもかかわらず、収納率が上昇したことで、方針変更を決めました。

市は、2022年度からは「資格証」の発行は保険料を払える能力があるのに払わない場合（所得400万円程度以上など）に限るとの方針も示しました。

「資格証」は、病院にかかったときに医療費がいったん全額負担となります。市社会保障推進協議会（市社保協）のみなさんなど幅広い市民の皆さんや党市議団は、「病院にかかれないひどいやり方で、国保料を払いたくても払えない生活困窮家庭の実態をみていない」「資格証を発行しても収納率は上がらない」などと指摘し、岡山市の方針変更を求めてきました。

市民の声が届いた大きな成果です。

市社保協のみなさんは、来年度の国保料を「払える保険料に引き下げて」という市長あて署名活動を始める予定です。この毎年の署名が、市を動かす大きな力になっています。

ぜひ、たくさんの署名をあつめ、世論を広げて、岡山市の国保をよりよいものにしていきましょう。

## コロナ減収世帯の保険料減免でコールセンター開設中

長引くコロナ禍で収入が減っている世帯に対して、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療で、保険料の減免制度があります。おおむね前年比3割減が基準です。

国保では、2019年度は1440件・約5465万円、2020年度は1763件・約3億2756万円の減免がありました。

現在、市はコールセンターを設置して、相談に対応しています。

**岡山市保険料減免等コールセンター 086-897-1126**

（平日の9:00～17:15 2022年3月18日まで）

お困りのことがあれば、市議団でもお受けしています。お気軽にご相談ください。